

## 英語版 CCBA 合格体験記

2012年5月記

株式会社グローバル・パートナーズ・テクノロジー

藪内 理予

### 1. 受験動機

当社（株式会社グローバル・パートナーズ・テクノロジー）では、BA 領域の業務を主たる事業として実施しており、BA の知識と経験を証明する CCBA の認定資格の取得が推奨されていたことが、CCBA 受験を考えるきっかけとなった。

かねてからコンサルティング領域での資格取得に興味があったことと、英語での受験に抵抗のなかった私が、2011年11月の日本語版 CCBA 試験が実施される前に英語版 CCBA を CBT で受験することにより日本語試験開始前の「数少ない合格者」になれる可能性があったことが主な動機である。

### 2. 受験までのステップ

受験までのステップは下記のとおり。



#### (1)情報収集

まずは試験の具体的な内容について知るべく、IIBA の本部と日本支部のホームページをくまなく読んだ。

#### (2)BABOK 通読

BABOK 全体像を把握すべく、ざっと一通り読んだ。

#### (3)出願準備

「CCBA®ハンドブック」を参照しながら、一つ一つの準備を丁寧に行った。特に、業務内容の整理と各業務の時間数については、過去に携わった業務内容をエクセル表にまとめ、BA の業務時間として積算される対象であることを確認した。推薦状は、自社の社長と、以前参画していたプロジェクトのクライアントに依頼した。IIBA から推薦者へ直接内容確認が行われる可能性があるため、英語が堪能な方に依頼した。

#### (4)研修受講

研修は、事前に通読した BABOK の知識を整理することができたことと、出願手続き上で不明な点を講師の方に確認できたことが、受験に向けて非常に大きな助けとなった。これから CCBA を受験する方にも、①BABOK 通読→②出願準備→③研修で知識の整理および出願手続き上の不明点の確認、という手順をお勧めする。

#### (5)出願申請

8 月 1 日に申請し、8 月 11 日には出願申請受理のメールを受信した。メールの内容は下記のとおり。

表題：CCBA Application Assessment Results

本文：On behalf of the IIBA® Certification Body, it is our pleasure to inform you that your online application to sit for the Certification of Competency in Business Analysis™ (CCBA™) exam has been approved.

#### (6)試験勉強

研修時に配布された参考書「CBAP・CCBA 受験対応 BABOK 入門」（伊藤衡著 日本能率協会マネジメントセンター発行）を熟読し、特に各知識エリアのインプットとアウトプットを重点的に覚え、各知識エリアの関係性を頭に叩き込んだ。

また、研修時に配布された試験練習問題と自主購入した問題集「CBAP/CCBA Certified Business Analysis Study Guide」（Susan Weese&Terri Wagner 著 SYBEX 発行）にて約 6 回分の試験に相当する問題を解き、誤った問題について BABOK に立ち返り、記憶があやふやな箇所をノートにまとめるというステップを繰り返した。

#### (7)受験登録

勉強の進み具合に自信を持てた 10 月上旬に受験の登録(予約)をした。

Examination Registration のウェブページから受験予約をしようと試みたが受験場所のプルダウンに日本が選択肢として表示されず、IIBA 本部の方と 8 回にわたりメールのやりとりをした。結局ウェブからの申し込みができず、メールで場所と希望日時を伝え、試験を予約した。度重なるやり取りであったにもかかわらず、迅速にかつ丁寧にご対応いただけたことに感謝する。

#### (8)受験・試験結果

10 月 30 日にテンプル大学のテストセンターで CBT を受験。一通り問題を解くのに約 2 時間かかり、不安があった問題や全体の見直しに 1 時間かけ、合計約 3 時間を要した。

全ての問題を解き終わると同時に「Congratulations! On behalf of the IIBA® Certification Body, we are happy to inform you that you passed the Certification of Competency in Business Analysis™ designation」と画面に表示された。

11 月 14 日には、「CCBA™ Recipient Package Coming Soon」メールを受信し、追って合格証

等が郵送された。

単純に合格を喜んでいた私であったが、2012年1月10日にIIBA日本支部HPに掲載された「初のCCBA日本語試験に28名が合格」というプレスリリースに「1月8日現在、日本のCCBA資格保有者は29名(日本語試験合格者28名、英語試験合格者1名)です。」と書かれていた。日本語試験日より先に英語で受験していた私は、日本でのCCBA合格者第一号であったということがわかり、非常に驚いた。

### 3. 合格後の取り組み

日本でのCCBA合格者第一号として恥じないよう、BAの活動に今後積極的に関わりたいと考え、2012年1月29日に行われたIIBA日本支部総会へ参加した。その際に各種ワーキングについて知り、BA初心者であっても参加しやすそうに感じられたBABOK WGに参加することにした。

ワーキングではBABOKに記載されている内容を実務で活かすために、各シーンで利用できるチェックリストを作成している。試験を通して身につけた知識を実務に役立てる方法として効果的であるため、今後も積極的に参加したいと考えている。当該ワーキングは、これからCCBAを受験する方の試験勉強としても有用であると思われるので、合格された方だけでなく受験を考えている方にも是非活用いただきたい場である。